

## 「ながら見守り」で子どもを守りましょう



新生活に心を躍らせ迎えた入学式から約2ヶ月が経ち、新入学児童のみなさんも少しは学校生活に慣れてきた頃かと思えます。

肝付地区防犯協会では、管内7小学校の新入学児童（143名）対して防犯グッズ「いかにのあすし下敷き」を配付しました。また、県防犯協会・県警察本部が作成した防犯チラシ等を新入学児童とその保護者へ配付しました。

小学生になると登下校時や放課後に子ども達だけで過ごす時間が増え、それにより交通事故や事件に巻き込まれてしまう危険性が高まります。子ども達が被害に遭わないよう、地域ぐるみで見守り活動のご協力をお願いします。



柏原小学校にて

子ども達には「自分の身を守るための行動をしましょう」保護者へは「誘拐・連れ去り・いたずらから子どもを守りましょう」と注意を呼び掛けました。

4月10日（金）に、少年ボランティアの方々が、高山小学校の正門前で早朝立哨を行いました。

この日は春の交通安全運動期間でもあり、役場職員、学校関係者、警察署員も小学校付近の交差点や横断歩道で立哨され、児童の安全を見守りました。

強風と小雨のぱらつく中、子ども達は大きな声で「おはようございます」とあいさつして、元気よく登校して行きました。

### 早朝立哨で児童をサポート



### 不審者への対応を学ぶ

4月15日（水）に、内之浦中学校で、令和8年度最初の不審者対応訓練を実施しました。

訓練では、校内に不審者が侵入し、先生方が対応している間に、生徒は決められた場所に避難しました。その後、生徒の代表が下校途中や友達と遊んでいるとき、家で留守番をしているときに不審者に遭遇した場合、どのように行動するかを署員が不審者役となり、実際の行動の仕方を学びました。

